

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		山川不動尊あやめ園整備事業						予算事業名		山川不動尊あやめ園整備事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 都市計画法 都市公園法				
				08	03	05	2101	経常経費					
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業			
		コンパクトで魅力あるまちづくり								重点事業			
		公園・緑地の整備・充実						担当課係等		都市計画課			
										住宅公園係			
事業期間		継続 (令和 2年度～令和 8年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
山川不動尊周辺地区に、自然資源を利用した公園整備を行うことにより、子供たちが自然に触れあえ、動植物の観察を行えるような、学習環境の充実も図れる公園整備を行う。							姉妹都市山形県長井市より寄付を受け、休耕田に定植させたのが始まりだが、なかなか整備が進まず、令和2年度より都市計画課に整備が移管されたことを受け、再度計画を見直した。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
R2年度 山川不動尊近隣公園基本設計業務 R3年度 山川不動尊近隣公園整備計画 (都市公園事業) 策定 R4年度 山川不動尊近隣公園整備実施設計 R5年度 山川不動尊近隣公園整備工事 (第1期) R6年度 山川不動尊近隣公園整備工事 (第2期) R7年度 山川不動尊近隣公園瀬美工事 (第3期) R8年度 効果促進子供たちによる動植物の保護活動							山川不動尊地区の公園整備 子供たちの教育環境の充実						
							【事業をとりまく環境の変化】 長年整備が進まなかった事業であり、またこれまで管理していただいた団体の高齢化も進む中で、山川不動尊地区に自然に触れあえる公園を整備することで、子供たちが自然と触れ合える公園整備を行う。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
山川不動尊地区近隣公園実施設計業務委託				山川不動尊地区近隣公園整備工事 第1期工事				山川不動尊地区近隣公園整備工事 第2期工事					
■事業費													
				R02年度		R03年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	11,000	0						
歳 入 計 (千 円)				11,000		0							
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)							
	12 委託料			11,000		0							
歳 出 計 (千 円) (A)				11,000		0							
伸 び 率 (%)						皆減							
備 考	総合計画 65 ページ												

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	山川不動尊近隣公園整備	箇所	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	市民一人当たりの公園面積	m ²	目標	10.00	10.00	10.00
			実績	6.15	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	周辺に近隣公園がないこと、少子高齢化による「あやめ園」管理の持続問題、子供たちの楽しめる場所づくり、いろいろな角度から見た公園整備が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が整備を行う事業
	手段の妥当性	A 妥当である	今のところ順調なので手段は妥当といえる。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	交付金の採択に向けた整備計画を立てており、採択されれば財源の確保も可能である。担当係の人員は不足しており、人員増加しなければ仕事の効率が悪くなる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	整備の対象年齢を児童など子供たちに設定したことにより、子供をとりまく、幅広い世代に憩いの場を提供できていると考えている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	整備に伴い、自然環境保護、教育環境の充実、高齢者の散歩コースといった、多様性のある空間が提供できる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	順調である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
財源の確保に向けた事務手続きも行っており順調である。今後も引き続き、財源及び整備の情報収集や職員のスキルの向上が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
公園整備を通し、新しい公園についての研修及び視察など行い職員のスキル向上を図りたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 令和3年度設置した「山川不動尊あやめ園整備計画検討委員会」にて、整備方針及び管理運営体制について協議し、事業を進めていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	